

令和5年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の  
点検及び評価に関する報告書  
(対象年度：令和4年度)

高萩市教育委員会

# 目 次

I	はじめに	
1	趣旨	1
2	点検及び評価の対象	1
3	点検及び評価の方法	1
4	外部評価委員	1
II	点検及び評価結果	
1	教育委員会の活動	2
2	教育委員会が管理・執行する事業	4
(1)	学校教育	4
(2)	生涯学習	17
(3)	スポーツ振興	21
(4)	市民文化	26
(5)	防犯	32
(6)	人権	34
III	外部評価委員会委員の意見	36
IV	参考資料	
	地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）	37

# 1 はじめに

## 1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用した点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に報告するとともに、公表しなければならないとされています。

このため、高萩市教育委員会では、法律の趣旨に則り、より効果的な教育行政の推進を図るため、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書（令和 4 年度実績）」をまとめ、議会に報告するとともに公表することとします。

## 2 点検及び評価の対象

本市の市政運営の基本である第 6 次高萩市総合計画「地域力が笑顔をおもまち 高萩」及び教育委員会の運営の基本である「高萩の教育」における重点戦略を構成する施策のうち、令和 4 年度に教育委員会が実施した主な事務事業を点検及び評価の対象としました。

## 3 点検及び評価の方法

教育委員会が実施した事務事業を「1 教育委員会の活動」と「2 教育委員会が管理・執行する事業」に大別し、項目ごとに自己点検評価を行いました。

また、点検と評価の客観性を確保するために、事務局内部で実施した点検と評価報告について、教育に関し深い知識を有する者（外部評価委員）の意見を求めました。

## 4 外部評価委員

（敬称略）

氏 名	所 属
落 合 武	元高萩小学校長
長谷部 栄 子	市文化会館運営委員会委員
小 野 光 一	市スポーツ協会会長

## II 点検及び評価結果

### 1 教育委員会の活動

#### (1) 教育委員会の構成

職名	氏名	任期
教育長	大内 富夫	令和3年4月1日～令和6年3月31日
教育長職務代理者	小林 正治	令和4年10月1日～令和8年9月30日
教育委員	増子 恵美	令和2年10月1日～令和6年9月30日
教育委員	佐川 睦子	令和3年10月1日～令和7年9月30日
教育委員	山崎 貴志	令和3年4月1日～令和7年3月31日

#### (2) 令和4年度教育委員会月別開催状況

教育委員会では、付議された案件についての審議や報告等を行う定例会を毎月1回開催する他に、必要に応じて臨時会を開催しました。また、教育委員の意見交換や研修活動等の場として協議会を開催しました。

教育委員会では、36件の議案と5件の報告について審議しました。人事案件や教育委員会規則の制定又は一部改正等について慎重かつ迅速な審議が適正に行われました。これらにおいては、本市の教育行政について様々な視点から建設的に議論されてきました。

教育委員会では、第6次高萩市総合計画で示された主要施策である「未来を切り拓く地域人（萩っ子）が育つまち」等の実現に向けて、様々な事業の展開に努めてきました。

(単位 回)

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
定例会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
臨時会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2

#### (3) 学校訪問

教育委員会と学校現場が互いに共通認識を持ち、より良い学校教育を推進することを目的として、学校園訪問を実施しています。教職員が実際に指導している様子や子どもたちの様子を把握するとともに、学校及び園での取り組みや課題について意見交換を行っています。

月 日	場 所
5月24日	高萩小学校、東小学校
5月26日	秋山小学校、高萩中学校、秋山中学校、松岡中学校
5月30日	松岡幼稚園、秋山幼稚園

6月29日	松岡小学校、たかはぎ認定こども園
12月16日	高萩小学校、東小学校、秋山中学校、たかはぎ認定こども園
12月19日	松岡小学校、高萩中学校、松岡中学校、松岡幼稚園
12月20日	秋山小学校、秋山幼稚園

(4) 教育委員研修

例年、国・県・他自治体の取組等に触れる機会を設け、委員としての見識を深めるため、研修に参加していますが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策のため研修会等は中止になりました。

## 2 教育委員会が管理・執行する事業

### (1) 学校教育

一人一人の個性や能力、可能性を広げる教育内容を充実させ、生涯をよりよく生きるための豊かな心と健やかな体を持つ、いきいきとした菟っ子を育てます。

地域の特性や実態に合わせた指導体制や教育施設の充実に努め、豊かで安心して学べる教育環境を整備していきます。

事業名	① 教育環境の整備			
施策の内容	<p>○児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化等の実情を踏まえ、学校施設の適正な配置・整備を進めます。</p> <p>○国のGIGAスクール構想を踏まえ、ICT教育の環境整備と指導内容の充実に努めます。</p>			
担当課	教育総務課・学校教育課			
実施内容	<p>○教育環境の改善を図るため、秋山小学校体育館照明改修工事、秋山中学校体育館照明改修工事等を行った。</p> <p>○国のGIGAスクール構想に基づくICT教育環境整備が進み、情報モラル教育や情報セキュリティに関する指導のほか、教員向けのICT活用研修会を開催し、情報共有を図った。</p> <p>○平成31年3月から配置したICT支援員に関し、ICTを活用した学習支援の充実、並びに端末の操作支援及び障害トラブル等への対応への拡充を図るため、これまで各校月2回の訪問を月4回の訪問とした。</p> <p>○児童生徒の減少により学校が小規模化することに伴い生ずる様々な課題を解消するため、小中学校の適正規模及び適正配置の基準等を定めた「高萩市立小中学校適正規模・適正配置基本方針」を策定した。</p> <p>○園児数が減少した松岡幼稚園を閉園し、たかはぎ認定こども園と統合した。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○少子化に対応し子どもたちが安心して学習に取り組める教育環境を整備するため、令和4年度に策定した「高萩市立小中学校適正規模・適正配置基本方針」を基に具体的な学校適正規模等の方策を定める「(仮称)高萩市立小中学校適正規模・適正配置実施計画」を策定する。</p> <p>○教育委員会と学校が連携し、国のGIGAスクール構想に基づいたICT教育環境整備の充実、情報活用に関する正しい知識や判断力を身に着けるための情報モラル教育及び情報セキュリティに関する指導を継続する。</p> <p>○教員のICT活用指導力を向上させ、授業において効果的に</p>			

	<p>ICTを活用することで、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図ることを目的として、情報教育研究部と連携し、定期的に研修会を実施する。</p> <p>○秋山幼稚園については、園児数の減少が課題となっているため、たかはぎ認定こども園への統廃合を含めた適正なあり方について引き続き検討する。</p>
--	--

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値		目標値 (R7)
		(R3)	(R4)	
小中学校幼稚園の適正配置・整備	—	—	—	児童生徒により良い学習環境を提供するため、学校適正配置計画策定を進め、学校適正配置の具体化に向けた事業の推進を図る。
小中学校ICT教育環境整備	—	—	—	国のGIGAスクール構想を踏まえ、ICT教育環境整備と運用方法や指導内容の充実に努める。

外部評価 委員の評価	<p>○児童生徒の減少に伴い、先を見通して小中学校の適正規模及び適正配置の基準等を定めた「高萩市立小中学校適正規模・適正配置基本方針」が策定された。今後の「(仮称)高萩市立小中学校適正規模・適正配置実施計画」の策定により、少子化に対応し子どもたちが安心して学習に取り組めるような環境の整備の取組が期待される。</p> <p>○ICT支援員の学校訪問が月2回から4回に増え、着実に教師や児童生徒への支援が進んでいる。</p> <p>○コロナ禍のもと、ICT活用研修会がオンデマンド方式で開催されており、真摯に取り組んでいる。今後も情報教育研究部との連携による保護者対象研修会の開催等、着実な実施を継続していただきたい。</p> <p>○「実施内容」及び「課題と今後の取組」の記述に当たっては、成果や変化が分かるような数値を含めた記述になるような工夫をお願いしたい。</p> <p>○タブレットを用いた授業が定着してきたことに伴い、正しい使い方を随時確認しながら使用していただきたい。</p> <p>○なかなか学校に来られない子どもたちが、タブレットで遠隔授業に参加できるようになってきている。これからも取組を進めてほしい。</p> <p>○学校施設の修繕に関しては、いつまでに実施するのかを学校に連絡し、速やかに実施していただきたい。</p> <p>○今後とも、子どもたちが安心して安全に過ごせる環境づくりに取り組んでいただきたい。</p>
---------------	---

事業名	② 確かな学力の定着			
施策の内容	<p>○訪問指導と定期的な研修を通して教員の授業力を向上させ、児童生徒の学力向上につなげていきます。</p> <p>○家庭学習については、課題の内容や与え方を工夫するなど、より実効性のある家庭学習の実現に向けて取り組みます。</p>			
担当課	学校教育課			
実施内容	<p>○小学校4年生から中学校2年生までの児童生徒を対象に、県の学力診断のためのテストが実施された。学校や学年、教科による平均正答率に差がみられた。</p> <p>○計画訪問において、授業参観後の研究協議の中で、個別最適な学びと協働的な学び、授業改善について具体的に助言した。</p> <p>○市教委主催によるICT活用研修会を定期的実施した。各学校においても、情報教育担当者を中心に、研修会を実施するなどして、タブレットを活用しての授業が定着してきた。eライブラリ等学習支援サービスを活用して基礎・基本の定着を図った。</p> <p>○各学校が授業改善の状況を児童生徒の学習状況で把握するとともに、さらなる改善に取り組むために、いばらきフォローアップ問題やアセスメント問題等を活用し、授業改善を図っていく。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○採用3年目までの若手教員、希望する講師を対象に、教師の授業力向上・児童生徒の学力向上を目的とした研修を計画的に実施することで、若手教員の資質・能力の向上を目指す。</p> <p>○教科等指導員を対象とした研修会を年2回実施し、若手教員に対する適切な助言や指導について学ぶことで、若手教員及び教科等指導員の資質向上を図る。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値		目標値 (R7)
		(R3)	(R4)	
県学力診断テスト市平均点と県平均点との差 (小学校)	-	-4.2点	-2.6点	+0.5点
県学力診断テスト市平均点と県平均点との差 (中学校)	-	-5.7点	-5.3点	+0.5点
県学力診断テスト市平均点と県平均点との差 (英語)	-	-7.2点	-8.3点	0点

※令和2年度県学力診断テスト…新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

<p>外部評価委員の評価</p>	<p>○「主要事業指標」における小中学校の「県学力診断テスト市平均点と県平均点との差」では、まだマイナスの領域にはあるが着実に向上している様子が見える。結果の詳細な分析を行うとともに、改善策の立案と確実な実施ができるよう、今後も市教育委員会の具体的な指導助言の継続をお願いしたい。英語については引き続き、重点課題として授業改善に努めていただきたい。</p> <p>○タブレットやeライブラリ等学習支援サービスの活用が進んでいる。それらとともに、フォローアップ問題やアセスメント問題等も含め、今後は実際の活用回数や活用率のデータと成績等の数値の比較等を通して、成果や課題を明らかにし、さらなる授業改善に生かして欲しい。</p> <p>○タブレットを使用することが多くなってきている反面、鉛筆を使う頻度が少なくなっているように思うが、鉛筆を持って書くことで覚え方も違うのではないかと感じる。</p>
------------------	---



	<p>合同での情報交換を大切にし、継続して定着するよう指導する。</p> <p>○「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」による読書活動をより一層推進する。市学校図書事務職員を小中に1名ずつ派遣し、学校の図書担当教諭や委員会活動と連携し、魅力ある図書室づくりを進め、読書活動を推進する。また、さらなる活用推進に向けて、高萩市立図書館や国語教育研究部との連携を図っていく。</p> <p>○個人向けの分析結果の出るハイパーQ Uアンケートを実施し、児童生徒一人一人にとって居心地のよい学級づくりに一層努める。また、ハイパーQ Uアンケート活用に関する研修会を通して、分析の精度を高め、児童生徒一人一人の状況を正確に把握し、課題に対する効果的な手立てを講じる。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響で、実施できなかったボランティア活動や行事への参加、特別支援学校との交流、高齢者との触れ合いなどについては、計画を練り直し、新たな交流の仕方を検討する。また、はぎッズ応援隊との連携を図る。</p> <p>○関係機関との連携を図りながら、研修会の内容を充実させ、児童生徒に関わる小・中学校生活指導員兼介助員等の資質の向上を目指していく。</p>
--	--

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値		目標値 (R7)
		(R3)	(R4)	
萩っ子5 (5つの約束) を意識した生活を送れた児童生徒の割合	84%	84.3%	88.4%	88%
みんなにすすめたい一冊の本達成率 (小学校)	86.9%	84.7%	88.0%	90.0%
みんなにすすめたい一冊の本達成率 (中学校)	29.3%	18.2%	21.7%	20.0%
スクールカウンセラーへの相談回数	1,804回	2,267回	1,744回	2,000回
心の教室相談員への相談回数	193回	196回	190回	190回
萩のひろば支援員への相談回数	58回	66回	83回	60回

※萩っ子5 (5つの約束)

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1. 進んで学習します    | 2. 誰にでも優しくします |
| 3. 明るく元気に過ごします | 4. 高萩のよさを学びます |
| 5. 夢に向かって行動します |               |

<p>外部評価委員の評価</p>	<p>○「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」による読書活動の数値は、前年度を大きく上回っており、高く評価される。タブレットでの高萩市立図書館の電子図書の利用ができるようになり、読書の幅を広げる取組もよい。</p> <p>○今後の読書活動の推進にあたり、高萩市立図書館や国語教育研究部との連携による各学校でのビブリオバトル等の特色ある取組をお願いしたい。</p> <p>○多忙な中ではあるが、ハイパーQ Uアンケートの分析が校内や学年で共有され、実際の学年・学級経営に生かす方策の立案と確実な実施を今後もお願いしたい。</p> <p>○「主要事業指標」の数値について、延べ回数で表記されているものがある。児童生徒数の減少により、必然的に延べ回数も減少するものがあるのではないだろうか。スクールカウンセラーや心の教室相談回数、萩のひろば支援員への相談回数については、活用率での比較ができると、環境整備が児童生徒に実際に効果的であることが実証されるのではないかと考える。</p> <p>○「み・そ・あ・じ」はとても覚えやすくて良いと思う。</p> <p>○電子図書をタブレットで読むことができるのは、図書館に行けない時でもすぐに読むことができて良い。</p> <p>○いじめの問題に関連して、子どもたちが自分の心のモヤモヤや、心の奥にある思いを気軽に話せる場所や先生の存在は、これからも必要であると感じる。</p> <p>○新型コロナウイルス感染拡大防止のための行動制限が少しずつ緩和されてきているので、特別支援学校との交流、高齢者とのふれあい等の行事を再開していただきたい。</p>
------------------	--

事業名	④ 健やかな体力の向上			
施策の内容	<p>○体育の授業や部活動等を通して、児童生徒の体力の向上に努めます。</p> <p>○民間企業との連携による水泳学習、体育的行事、部活動、スポーツチャレンジ等を通して運動への興味関心を高めます。</p> <p>○安心な給食の提供及び食育の推進に努めます。</p>			
担当課	学校教育課・教育総務課			
実施内容	<p>○体育の授業においては、1人1台端末を効果的に活用し、児童生徒同士が撮影した映像を見ながら、課題に気付いたり、解決に向けて助言し合ったりするなど、主体的な学習を展開した。</p> <p>○各学校における課題の解決に向けて、体力アップ推進プランを立案し、年間を通して計画的に体力向上に努めた。</p> <p>○はぎっズサポーターによる陸上指導や体育の授業サポーター派遣事業を活用するなど、児童生徒が専門的な指導を受けることで、楽しく運動に親しむ態度の育成と体力向上に努めた。</p> <p>○各中学校では、生徒と顧問が協力して練習計画を立案するなど、生徒の自主性を育む部活動運営に努めた。</p> <p>○部活動指導員を配置することで、生徒への専門的な指導を行ったり、教員の負担軽減を図ったりした。</p> <p>○栄養教諭により、児童生徒の発達段階に応じて朝食摂取の大切さや心身の成長に必要な栄養などの食育に関する授業を行った。また、給食日より市ホームページにその日の給食の画像やメニュー等を載せるなどして、保護者や市民にも食事の大切さを伝えた。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○各学校において立案している、体力アップ推進プランを確実に実施し、実践が課題の解決につながっているのかを確かめながら、児童生徒の体力向上に努めることが必要である。</p> <p>○これまで小学校のみで行われていた、民間企業との連携による水泳学習を中学校においても試行的に実施することにより、効果等を分析し、生徒の運動への興味関心につなげていく。</p> <p>○令和5年4月改訂の「高萩市部活動の運営方針」に則り、活動時間の遵守や生徒の多様なニーズを踏まえた活動環境の整備に努める。</p> <p>○休日部活動の地域移行を踏まえ、現在2校で活用している部活動指導員の配置をさらに推進する。</p> <p>○目標とする学校給食残食率に向け、学校での給食指導に加え、引き続き栄養教諭による「食育」を継続し、苦手な食べ物にも挑戦できる児童生徒の育成を目指す。また、保護者にも積極的</p>			

	に情報を発信していくことで、家庭での食育の推進も図っていく。
--	--------------------------------

主 要 事 業 指 標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値		目標値 (R7)
		(R3)	(R4)	
部活動指導員配置校数	1校	1校	1校	3校
学校給食の残食率	18.2%	19.2%	21.3%	15.0%

外部評価委員の評価	<p>○体育の授業で、児童生徒同士が撮影した映像を見ることで課題に気付かせたり助言し合ったりと主体的な学習を展開できるよう、一人一台端末の効果的な活用を図っている様子が見える。</p> <p>○体力アップ推進プランの立案と実施は有効な手段であると思う。成果と課題を明らかにする中で指導法の改善につなげていくとともに、学校間で効果的な指導法の共有にも努めていただきたい。</p> <p>○給食だよりや市ホームページへのその日の給食の画像やメニューの掲載等、食育への積極的な取組が見られる。しかしながら、そうした取組の中でも残食率が上がっているため、欠席や学級閉鎖等に影響されないように、現行の全量調査ではなく出席率に応じた残食率となる調査方法に転換していただきたい。</p> <p>○健康な体づくりのために栄養のある食事はとても大切である。給食は栄養バランスを考えて作られているので、残さず食べてくれるようになると思う。</p> <p>○休日部活動の地域移行に向け、子どもたちの意見を聞くなど、子どもたちの気持ちを優先に考えて実施していただきたい。</p>
-----------	---

事業名	⑤ 開かれた学校運営			
施策の内容	<p>○全ての学校でのコミュニティ・スクール導入を契機として、学校、家庭、地域の連携をより一層密にして学校教育を推進します。</p> <p>○自殺・いじめ防止等の対策として、外部機関との連携を強化し、新たな学校支援体制の構築に取り組みます。</p>			
担当課	学校教育課			
実施内容	<p>○コミュニティ・スクールを市内全校に導入し、3年目となった。学校運営協議会を年5回程度開催し、地域のめざす子ども像に向かい、各コミュニティ・スクールの特色を生かした実践が行われた。また、地域連携コーディネーターの研修会や講師を招いての学校運営協議会委員の研修を行った。</p> <p>○地域学校協働本部立ち上げに向けての会議や県北生涯学習センター主催の研修会に地域連携コーディネーターや学校運営協議会委員が参加し、地域とのさらなる連携に向けて情報交換を行った。</p> <p>○各コミュニティ・スクールの活動の中心となる校種間連携事業「ユニット3」の充実に向け、年間計画の作成、見直しを行い、計画していた活動を実施した。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○令和4年度当初は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、外部人材の活用ができず、はぎッズサポーターの活動も減少した。</p> <p>○各学校に地域連携コーディネーターを設置し、定期的に研修を行うことで、学校・家庭・地域社会が相互に連携・協力した教育を推進する。</p> <p>○地域連携コーディネーターとはぎッズ応援隊のリーダーとの連携を図ることで、地域人材をより有効に活用できるようにし、地域と協働して子どもたちを育てる学校づくりを推進する。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値		目標値 (R7)
		(R3)	(R4)	
はぎッズサポーターを 活用した回数	80回	981回	685回	1,000回

※はぎッズサポーター活動例

- ・授業支援、クラブ活動支援、学校行事支援
- ・登下校の見守り、休み時間の見守り
- ・環境整備など

<p>外部評価委員の評価</p>	<p>○校種間連携事業「ユニット3」と各コミュニティ・スクールの特色を生かした実践の継続を今後もお願いしたい。</p> <p>○地域学校協働本部が設立された。その立ち上げのための諸会議や準備等、ご苦労がしのばれる。</p> <p>○はぎッズ応援隊が今年度から他の地域でも活動できるようになったので、昼休み時間に行う「小さなコンサート」や学校行事支援、授業支援など、新しくなった応援隊リーダーをはじめ、サポーターの皆さんと一緒に子どもたちを元気にする活動を進めていただきたい。</p>
------------------	---

(2) 生涯学習

誰もが自由に学習機会を選択して学び、それを地域や家庭内で活かしていくことで、生きがいや充実感を持って暮らせる社会を目指します。

事業名	① 生涯学習機会の充実と地域・家庭の教育力向上			
施策の内容	<p>○多様化する市民ニーズに合った学習機会の充実と学習の成果を活かす環境づくりが求められており、学び合い、教え合う中で地域を考える活動が必要になります。</p> <p>○生涯学習の拠点となる公民館等において、市民のニーズを踏まえた講座等を企画します。</p>			
担当課	生涯学習課			
実施内容	<p>○市民の生涯学習活動の一助となる生涯学習情報誌「学びいきいき高萩2022」を作成し、関係機関等へ配付した。</p> <p>○ボランティアの効果的な活用を図るため、組織の一元化に向け、はぎッズサポーター、地域子ども安全ボランティア、放課後子ども教室支援員を「はぎッズ応援隊」とし、学校と地域が相互にパートナーとなる「地域学校協働本部」を設立するため準備委員会を開催した。</p> <p>○「いきいき萩っ子育て事業」として、キッチンカーの石窯を利用し家族で本格ピザを作る体験事業を実施した。(20組59名参加)</p> <p>○子育て世代を対象とした「楽しく子育て応援講座」を開設するとともに、初心者に向けた「スマホ講座」を開設した。</p> <p>○体験活動を通して子どもたちの健全育成を図る「萩っ子歴史探検隊」についてはコロナの影響により開催を断念したが、「少年探検講座」や「サマージャンボリー」については、感染対策を講じた上で、内容を変更するなどの工夫をし実施した。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	○学校と地域が相互にパートナーとして行う「地域学校協働本部」と学校と地域住民等が協力して学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」との一体的な実施を推進する。			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値		目標値 (R7)
		(R3)	(R4)	
公民館講座参加者数	1,479人	1,153人	1,291人	1,500人
市民指導者登録数	60人	58人	55人	60人

<p>外部評価委員の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域学校協働本部が設立された。その立ち上げのための諸会議や準備等、ご苦労がしのばれる。</li> <li>○コロナ禍で中止となった行事はあったが、伝統行事である「少年探検講座」や「サマージャンボリー」が実施できたのはよかった。</li> <li>○「主要事業指標」の「公民館講座参加者数」が、コロナ禍にも関わらず向上したのは素晴らしい。</li> <li>○はぎッズサポーター、地域子ども安全ボランティア、放課後子ども教室支援員が「はぎッズ応援隊」という新しい組織となった。今まで制限されてきたことを少しずつできるように、地域住民と学校、生涯学習課がコミュニケーションを図りながら、よりよい活動ができるようになることを望む。</li> </ul>
------------------	---

事業名	② 社会教育施設の整備と活用			
施策の内容	○社会教育施設の適正配置・管理体制を整え、市民に愛される施設として活用します。			
担当課	生涯学習課			
実施内容	<p>○中央公民館分館と位置付けられていた4分館（石滝、若栗、竹内、中戸川）を集会所に移行するとともに、中央公民館の移転について検討を進めた。</p> <p>○さくら宇宙公園に公衆トイレを新設し、公園利用者の利便性の向上を図った。</p> <p>○商工会と協働してやすんでっ亭で出前講座を開設した。</p>			
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○当課で所管する全施設において老朽化が進んでいる状況であるため、高萩市公共施設等管理計画及び高萩市公共施設個別施設計画を踏まえ、将来的な集約・廃止を見据えた施設管理・修繕・更新等をしていく。</p> <p>○市民ニーズの把握及び事業化（講座開設等）を進める。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値		目標値 (R7)
		(R3)	(R4)	
各種講座開設数	12 講座	18 講座	34 講座	20 講座

<p>外部評価 委員の評価</p>	<p>○さくら宇宙公園の公衆トイレはきれいで使いやすく、公園利用者の利便性が図られている。</p> <p>○商工会と協働して「やすんでっ亭」で出前講座を開設したことは、社会教育施設活用の幅が広がる活動になったと考える。各種講座開設数も 18 講座から 34 講座に増加しており、市民のニーズの把握が事業化につながったと思う。</p> <p>○施設の老朽化が進んでいると思うが、安心して安全に使用できるようにしていただきたい。</p> <p>○園児減少のために閉園された市立幼稚園の建物を、市民に貸し出したり公民館のように使うなど、社会教育施設として利活用を図っていただきたい。</p>
-----------------------	--

### (3) スポーツ振興

各種スポーツ教室や講習会等の充実及びスポーツ施設の適切な維持管理により、幅広い世代の市民が多種多様なスポーツ・レクリエーション活動へ参加できる機会の増加に努めます。

スポーツ振興団体と協力し、指導者研修や指導者の活用の促進、次世代の指導者の育成等に取り組みます。

事業名	①生涯スポーツ・レクリエーション活動の振興
施策の内容	○特色ある講座やスポーツ・レクリエーション等様々な取組を展開し、幅広い世代の多くの市民が年齢や体力に応じ気軽にスポーツに親しめる環境を整えます。 ○指導者研修等により、市民ニーズに対応できる指導者の確保に努めます。
担当課	生涯学習課
実施内容	○市内小中学校の体育館や校庭等の体育施設を、学校教育に支障のない範囲内で市民へ開放を行った。学校体育館の開放については、利用団体間で調整を行い利用できた。 ○新型コロナウイルス感染症の拡大状況を確認しつつ、各種スポーツ大会や、イベント、教室等を実施した。 ○体かづくり市民歩く会と、たかはぎ駅伝競走大会は、実に3年ぶりの開催であった。参加者数・参加チーム数は、前回、令和元年時に比べると減少したが、アフターコロナを印象付けるイベント、大会として実施することができた。また、昨年同様、オンラインイベント「オクトーバー・ランアンドウォーク」に高萩市として参加し、市民の健康増進に寄与した。 ○全国中学生ウエイトリフティング大会並びに全国小学生ウエイトリフティング交流大会を高萩市文化会館において開催した。令和4年度は入場者に事前登録をしてもらうこととしたが、多くの関係者や家族等が競技を観戦することができた。 ○スポーツ協会と一般社団法人日本トップリーグ連携機構と共催により、「SOMPO ボールゲームフェスタ」を開催し、多数の小中学生が参加し、子どもたちが楽しみながらスポーツをできるイベントとなった。 ○中学校休日部活動地域移行の試行に向けて、各競技団体及び学校関係者との調整を図り、令和5年度の準備を整えた。 ○高萩市における、スポーツに関する事業を体系化し、総合的に推進していくこと、また市民の心身の健全な発達、明るく豊かな市民生活の形成などに寄与することを目的として「高萩市スポーツ推進計画」を策定した。

評 価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○ホームページやSNS等を活用し、各種団体と連携を図り、市内スポーツの普及啓発活動に努め、生涯スポーツ人口の増加に努める。</p> <p>○中学校休日運動部活動の地域移行については、令和8年度の完全移行におき、計画的に試行を実施する。</p> <p>○ウエイトリフティング競技力の向上を図るとともに、競技の普及啓発等に積極的に取り組み、スポーツ交流事業の増加と地域のスポーツ環境の向上を目指す。また、ウエイトリフティングの全国大会の開催を通じて街の活性化に努める。</p>			

主 要 事 業 指 標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値		目標値 (R7)
		(R3)	(R4)	
各種スポーツイベント等への参加者数	3,200人	101人	1,203人	3,500人

外部評価 委員の評価	<p>○3年ぶりに体カづくり市民歩く会、たかはぎ駅伝競走大会が開催され、振興につながった。</p> <p>○中学校休日部活動地域移行は、市民の大きな関心事である。今後の調整や諸準備を引き続きお願いしたい。</p> <p>○オンラインイベント「オクトーバー・ランアンドウォーク」は、市民による毎日の健康増進活動に有効であったと考える。今後も活動の継続が望まれる。</p> <p>○ウエイトリフティングの各種開催、「SOMPO ボールゲームフェスタ」の開催は、スポーツ観戦やスポーツ体験の好機会となっている。市民の心身の健全な発達、明るく豊かな市民生活の形成に向け、今後の「高萩市スポーツ推進計画」の策定が大いに期待される。</p> <p>○ウエイトリフティング全国大会の高萩市での開催はとても素晴らしい。ウエイトリフティングと併せて、高萩の良いところをどんどんPRしていくと、より盛り上がるのではないか。</p> <p>○中学校休日部活動地域移行により、希望する生徒が休日にもスポーツ活動を実施できるようになると良いと思う。</p>
---------------	---

事業名	②スポーツ施設の整備と活用			
施策の内容	○幅広い世代の市民が、スポーツ施設を活用し、ライフステージに応じてスポーツ活動に取り組むことができるよう、計画的に各施設を整備します。			
担当課	生涯学習課			
実施内容	<p>○各施設とも老朽化が進む中、計画的な修繕等を実施し、市民に快適に利用していただけるよう整備に努めた。</p> <p>○市民体育館は、屋根の修繕を実施し、雨漏り対策に努めた。</p> <p>○市民球場は、シャワー室の給湯器を修繕し、快適に使用していただけるよう努めた。</p> <p>○サンスポーツランド高萩は、トラクターの修繕を実施し、環境整備の充実に努めた。</p> <p>○高浜スポーツ広場は、テニスコート付近のベンチの修繕を実施した。</p> <p>○石滝サッカー場は劣化した人工芝の部分修繕を実施した。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○所管する全施設において老朽化が進んでいる状況であるため、高萩市公共施設等管理計画及び高萩市公共施設個別施設計画を踏まえ、将来的な集約・廃止を見据えた施設管理・修繕・更新等をしていく。</p> <p>○スポーツ推進計画に沿って各スポーツ施設の管理運営を進めていくと同時に、小中学校再編の状況を注視し、余剰となった学校施設等も利用する計画を策定する。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値		目標値 (R7)
		(R3)	(R4)	
スポーツ施設利用者数	102,217人	116,350人	146,897人	100,000人

<p>外部評価委員の評価</p>	<p>○各施設の老朽化に伴い、市民体育館、市民球場、サンスポーツランド高萩、石滝サッカー場の施設や物品の修繕が図られた。安全確保に努め、各施設利用者の声を聞きながら、楽しく安心して安全な施設の活用ができるよう、今後も施設の整備に努めていただきたい。</p> <p>○コロナ禍の中でありながら「主要事業指標」の「スポーツ施設利用者数」が約3万人の増という大幅な向上は素晴らしい。</p> <p>○事故等なく安全に、利用者が使用できるように点検管理していただきたい。</p> <p>○施設入口に案内表示を設けるなど、市民に分かりやすい施設となるよう整備を進めていただきたい。</p>
------------------	---

(4) 市民文化

創作・発表の場があり、文化団体やグループ・サークル活動が活発に行われるなど、文化活動が充実した社会を目指します。

郷土の歴史や文化財を知り、身近に触れることができ、郷土に関心が持てる環境を整えます。

市内の指定文化財の適切な保護・保存・活用を進め、本市の歴史や文化財に興味・関心を持つ市民を増やします。

外国人との交流や外国文化に触れる機会を増やし、異文化への関心を高めていきます。

事業名	①芸術文化の振興			
施策の内容	○市民のニーズに合った芸術・文化活動を身近に感じられるよう、芸術文化活動への支援の充実を図ります。			
担当課	生涯学習課			
実施内容	<p>○新型コロナウイルス感染症の影響により、実施を予定していた、子ども文化教室一日体験講座、国際交流の集い、海外派遣事業などの文化的事業の開催を見送ることとなった。</p> <p>○高萩市文化協会が主催する文化祭については、感染対策を徹底しながら開催した。また、各団体において会員の勧誘に努めている。</p> <p>○開催規模の縮小はあったが、公民館まつりを開催した。</p> <p>○文化会館においては、「映画とミニコンサート」、「市民音楽祭」を開催したが、その他、3本の自主事業が中止となった。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○文化団体に、幅広い年齢層からの参加を呼びかける。また新たな活動場所を提供し支援する。</p> <p>○高萩市国際交流協会と協働して、外国文化に触れる機会や市内在住外国人との交流の創出。</p> <p>○幅広い年齢層にアプローチできる文化会館自主事業の検討。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値		目標値 (R7)
		(R3)	(R4)	
文化祭等事業への参加者数	2,710人	一人	1,320人	2,710人

外部評価 委員の評価	<p>○コロナ禍の中でありながら「文化祭」、「映画とミニコンサート」、「市民音楽祭」が開催できたことは大変よかった。</p> <p>○文化団体への幅広い年齢層からの参加の働きかけを今後も期待したい。</p> <p>○コロナ禍の前は、子ども文化教室一日体験講座に幅広い年齢の子どもたちがたくさん参加していて、いろんなことをとても楽しそうに体験していた。国際交流や文化的事業の開催についても、少しずつ再開していただきたい。</p>
---------------	---

事業名	②文化財の保護・保存・活用			
施策の内容	○郷土の貴重な文化財を保存・伝承するとともに展示や周知することにより、市内にある文化財の価値や魅力を広く発信します。			
担当課	生涯学習課			
実施内容	○令和2年9月に、長久保赤水関係資料693点が国の重要文化財に指定された。 ○令和3年度から4年度にかけて重要文化財に指定された資料のうち7点の修理が完了した。 ○穂積家住宅については、茅葺屋根の葺き替えの工事を行った。			
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	○長久保赤水関係資料の修理については、国の補助を活用し、令和3年度から8か年計画で33点の修理を行う予定。 ○今後は修理により得られた知見を広く発信するとともに国補助以外の財源確保に努める。また長久保赤水関係資料の保存・活用・調査研究のあり方について改めて検討する。 ○穂積家住宅については今後利活用を検討する。			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値		目標値 (R7)
		(R3)	(R4)	
高萩市歴史民俗資料館 の入館者数	3,010人	1,152人	1,511人	3,600人

<p>外部評価 委員の評価</p>	<p>○長久保赤水関係資料の修理、穂積家住宅の茅葺き屋根の工事が順調に進められている。継続して文化財の保護・保存・活用をお願いしたい。</p> <p>○「主要事業指標」の「高萩市歴史民俗資料館の入館者数」について、1,152人から1,511人と増加している。各小中学校では「高萩学」を推進しているところであるが、今後、校外学習でのさらなる活用を図っていただきたい。</p> <p>○高萩市に国の重要文化財があることは素晴らしい。管理するのは容易ではないだろうが、この先何年も何十年もたくさんの人に観ていただきたいと思う。</p>
-----------------------	--

事業名	③市民による国際交流推進			
施策の内容	○市内外の外国人との交流や外国文化に触れる機会の増加に向け取り組みます。			
担当課	生涯学習課			
実施内容	○新型コロナウイルス感染症の影響により、高萩市国際交流協会主催の「高萩国際交流の集い」、市内中学生の「海外派遣事業」などの事業が開催できなかった。 ○外国人に向けたやさしい日本語教室の開設に向け、研修等を受講し準備をした。			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	○市内居住の外国人を対象に日本語教室を立ち上げ国際交流を推進する。 ○海外派遣事業の内容について検討を行う。これまで交流してきた先方担当者の退職に伴い、交流がなくなってしまったため、訪問先や実施プログラムの再考を迫られている。今後は、短期留学などのノウハウを持つ旅行会社への業務委託等の方法を視野に入れ、高萩市国際交流協会と協議していく。			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値		目標値 (R7)
		(R3)	(R4)	
「高萩国際交流の集い」 参加者数	20人 (留学生) 15家族 (HF)	—	—	20人 (留学生) 18家族 (HF)

<p>外部評価委員の評価</p>	<p>○市内居住の外国人を対象にした日本語教室の開設に向けた準備として研修を受講することができたので、今後は日本語教室を早期に立ち上げ、積極的な国際交流を進めていただきたい。</p> <p>○海外派遣事業の派遣先、派遣方法等の内容の検討については、高萩市国際交流協会とさまざまな角度から十分に協議して進めていただきたい。高萩市には、海外の姉妹都市、友好都市がまだのようであるので、そうしたことも含め、検討をお願いしたい。</p> <p>○いろいろなことが制限なくできるようになってきたので、事業を少しずつ再開していただきたい。</p>
------------------	---

(5) 防犯

警察等の関係機関と連携し、防犯に関する広報や啓発活動を通して市民の防犯意識の高揚に努め、地域ぐるみの防犯・地域安全活動を推進します。

事業名	学校外での子どもの安全確保と健全育成			
施策の内容	○子どもたちが事件や事故に巻き込まれることがないように、ボランティア等による見守り活動の実施や、青少年相談員による相談・巡回活動の充実を図ります。			
担当課	生涯学習課			
実施内容	○地域子ども安全ボランティア等による登下校時の立哨指導。 ○ながら見守りの実施。 ○交通安全指導隊等による地域安全キャンペーン。(総務課所管) ○青少年相談員による巡回活動、防犯のぼり旗の設置。 ○体験活動を通して子どもたちの健全育成を図る「少年探検講座」の開催。 ○防災無線を活用した、ながら見守りの呼びかけ。(教育総務課) ○メルたか、まちこみメール等を活用した防犯情報の提供。			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	○「地域の子どもたちは地域で守る」を合言葉に、各種団体が子どもたちの安全確保に様々な活動をしているところであるが、市の所管が多部署にわたることから統一的な活動が困難な部分がある。行政、学校、ボランティア団体等の全体で情報や活動の共有を図っていくことが課題となっている。			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値		目標値 (R7)
		(R3)	(R4)	
地域子ども安全ボランティア登録人数	43人	34人	37人	60人

<p>外部評価委員の評価</p>	<p>○防災行政無線を活用した「ながら見守り」の呼びかけは市民の生活の中に定着してきていると感じる。多くの市民が意識して、子どもたちの安全・安心確保のために、「ながら見守り」活動をしている。</p> <p>○地域子ども安全ボランティアや青パト、メルたか、まちこみメール等、目に見える活動が行われており、安全確保に大きく寄与している。</p> <p>○子どもたちの登下校時、はぎッズ応援隊の方がいつも一緒についてきてくれており安心している。見かけるたびにありがたいなど感じている。</p>
------------------	---

(6) 人権

市民一人ひとりの人権が尊重されるまちを構築します。

事業名	学校における人権教育の推進			
施策の内容	○学校教育や生涯学習などの場において人権教育を実施し、差別や偏見がなく、人権の尊重についての理解を深める学習に取り組めます。			
担当課	学校教育課			
実施内容	<p>○各学校において人権教育推進全体計画を作成し、人権尊重の視点に立った学校づくりを行った。また、人権教育市町村教育委員会訪問において、取組について指導助言をいただいた。</p> <p>○人間関係のトラブルに関する生活指導や生徒指導の場面で、相手の立場や気持ちを考えさせる指導を行っている。また、学期に1回以上の生活アンケートの実施により、児童生徒の学校生活の実態把握やいじめの早期発見に努めた。</p> <p>○松岡地区（松岡幼・松岡小・松岡中）が令和3年度から令和5年度までの3年間、人権教育総合推進地域事業として県の委託を受けている。コミュニティ・スクールの仕組みを生かして、人権コーナーの設置や人権研修会、人権教室などを実施した。</p> <p>○いじめ問題対策連絡協議会では、各学校のいじめ対応の取組を紹介したり、スクールカウンセラーに児童生徒のいじめへの初期対応についての講義を行ってもらったりと、自殺予防対策について再確認した。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○人権教育市町村訪問において指摘のあった、人権教育に関する教職員の校内研修を定期的に位置づけていく。また、学校教育全体を通して人権意識を高めるとともに、道徳の授業において人権尊重の意識を高め、様々な体験活動を通して実践力を高める指導を充実させる。</p> <p>○17項目の人権課題に対して、知識として学ぶだけでなく、日常生活において態度や行動に表れるような人権感覚の涵養に努める。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値		目標値 (R7)
		(R3)	(R4)	
人権が尊重されているまちであると思う市民割合	45.6%	-	-	60.0%

※人権課題

- ①女性 ②子ども ③高齢者 ④障害者 ⑤同和問題 ⑥アイヌの人々  
 ⑦外国人 ⑧感染者等 ⑨ハンセン病患者等 ⑩刑を終えて出所した人  
 ⑪犯罪被害者 ⑫インターネットによる人権侵害 ⑬北朝鮮当局による拉致問題  
 ⑭ホームレス ⑮性的指向、性自認 ⑯人身取引 ⑰東日本大震災

<p>外部評価委員の評価</p>	<p>○学期1回以上の生活アンケートを継続し、ハイパーQ Uアンケートの活用と併せ、今後も児童生徒の学校生活の実態把握と いじめの早期発見に努めていただきたい。</p> <p>○松岡地区の幼小中の連携協力のもと、人権教室や人権研修会等が 開催され、「人権教育総合推進地域事業」の取組が着実に推進されている。 市内各校にその成果や課題が共有され、共通実践ができるように進めて いただきたい。</p> <p>○自分の考えと他の人の考えは違って当たり前ということを、子どもたち だけでなく大人も理解するのは難しい。先生方は指導する立場ではあるが、 一人の人間として、子どもたちと一緒に考えたり話し合ったりすることが 大切であると感じる。</p>
------------------	---

### Ⅲ 外部評価委員会委員の意見

○「主要事業指標」の数値について、延べ回数で表記されているものがある。児童生徒数や居住する市民の減少により、必然的に延べ回数も減少するものがあるので、活用率や達成率で表記する方法に転換できるとよい。また、誰が見ても分かる数字や妥当な内容に今後改訂していく必要がある。

○「実施内容」及び「課題と今後の取組」の記述に当たっては、成果や変化が分かるような数値を含めた記述になるようお願いする。

○「確かな学力の定着」は学校における永遠の課題となるものである。この1年間、この課題に向けて各小中学校が努力し、未だマイナス領域ではあるものの、その成果が数値として向上したことを高く評価する。今後、生徒指導の「み・そ・あ・じ」のように、学力の面でも学習規律、授業展開、発問、課題設定、ICTの活用、振り返り等で「高萩方式」となるように、合い言葉のようなものを市教育委員会や市教育研究会で設定していただきたい。

○ICTを活用した学習支援の充実や1人1台端末の操作支援、障害トラブル等への取組をこれまでお願いしてきたが、今回各校月2回の訪問を月4回に増加させたことを高く評価する。この訪問増が引き続き「確かな学力の定着」における「主要事業指標」の「実績値」の向上に繋がっていくことを期待する。

○各家庭で1人1台端末を利用し、今後も予習や復習で「いばらきオンラインスタディ」や「いばらきフォローアップ問題」の活用を継続をお願いする。また、その活用率と「確かな学力の定着」における「主要事業指標」の「実績値」の経年変化が比較できるよう、各校の意識的な取組をお願いする。

○休日部活動の地域移行を踏まえ、現在2校で活用している部活動指導員を3校の全部活動で部活動指導員の配置ができるよう、可能な限り努めてほしい。

#### IV 参考資料

##### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。